

事務事業評価表 平成23年度

政策 安全で快適な都市生活の充実
 施策 市街地整備の充実
 基本事業 人にやさしく、わかりやすい街並みづくり

事業名 **町名板再整備事業**

[0323]

部名	建設部	事業開始年度	平成10年度	実施計画事業認定	非対象
課名	区画整理指導課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
<p>対象</p> <p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>・市民 ・来訪者</p>	<p>手段</p> <p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>1.市街化区域内の角地や町名界にある建物に所有者の同意を得た後、約6,500ヶ所に街区型町名板を貼付 2.道路管理者及び公安委員会の協議後、市街化区域内(周辺部を含む)の約100ヶ所(交差点)の定周期信号機に町名板を設置</p>
<p>意図</p> <p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>市民及び市内来訪者等を町名や地番がわかる状態にする</p>	

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	市民	人	123,054	122,568	122,138	122,138
対象指標2						
活動指標1	街区型町名板整備数	枚	13	115	6	30
活動指標2	信号機型町名板整備数	ヶ所	1	2	1	1
成果指標1	所在確認の問い合わせ件数	件	50	50	20	50
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	480	739	481	536
正職員人件費 (B)		千円	836	4,979	2,418	2,444
総事業費 (A) + (B)		千円	1,316	5,718	2,899	2,980

費用内訳	
22年度	需用費 14千円、委託料 467千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	町名板の老朽化が著しく、市民や来訪者の利便性の向上を図る必要が生じたため。	事業を取り巻く環境変化	
--------	---------------------------------------	-------------	--

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

町名や地番の周知をすることは、他に担い手がいないため、市の役割である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

費用対効果を踏まえるとわかりやすい街並み整備を行う手段が他にはないため貢献度は大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

問い合わせ件数の減少。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

現在、年次計画に基づき整備をしており、整備途上の為、成果は上がる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

過去の実績を踏まえ、既に費用対効果を検証し、材質、意匠を変更しコスト削減を図っているため。